



鎌倉市歯科医師会

田中 俊充

明らかになってきた 関係性

「心筋梗塞と歯科」って何か関係があるの？と疑問に思われる方もいるのではないでしょう。近年の医学の研究により、糖尿病や脳梗塞、肺炎などの様々な全身疾患と歯周病などの歯科疾患との関係が明らかになってきています。今回は日本人の死因の第2位に挙げられる心疾患の中での代表的なものである心筋梗塞と歯科との関連性についてお話したいと思います。

歯周病原因菌が 心筋梗塞の原因に

心筋梗塞とは心臓が

栄養として流れている血管が動脈硬化(血管内に様々な物質が沈着して血管が狭くなり、血液の流れが滞ること)により心臓の筋肉が壊死(組織が死んでしまう)してしまつた状態のことを言います。この病気の恐ろしいところは病気による心臓の機能不全が直接「死」に関係してしまふことです。日本において心疾患による死亡率は「がん」に次ぐ第2位を占めています。心筋梗塞の原因としては加齢、高血圧、糖尿病、喫煙、肥満などがあります。最近になりその原因の一つに歯周病原因菌が関係していることがわかっています。

血小板が入って 動脈硬化を誘発

では、どの様にして歯周病原因菌が心筋梗塞を引き起こすのでしょうか。話は少し難しくなりますが、口腔内の歯周病原因菌の一部が歯茎などの傷から血管内に侵入することから始まります。通常血管内に入った細菌は白血球(血液内に含まれる生体防御に関わる細胞)により速やかに排除されますが、ある種の歯周病原因菌は血小板(血液内に含まれる止血に関わる細胞成分)内に入り込み、白血球の攻撃を受けることなく体中を巡ることができま

原因菌が血小板の機能を活性化させることにより、血液の凝集が促進し(血液が固まりやすくなり)、これが動脈硬化を誘発し心筋梗塞を引き起こすと言われています。

歯の痛みが、 心筋梗塞の前兆に

また心筋梗塞の前兆にも歯科が関係していると言われていています。心筋梗塞経験者の多くがその前兆として歯の痛みを訴えたという報告があります。これは関連痛というもので心臓の痛みを迷走神経という神経を介して顔面部に伝えることで起こります。

すこし大袈裟かもしれませんが、歯が痛むときそれは単なる歯痛ではなく、ひょっとしたら歯周病原因菌による心筋梗塞からくる歯の痛みかもしれません。重度の歯周病の人は軽度の人と比べて心臓発作を起こすリスクが2.8倍であったという報告もあります。いずれにしても定期的な検診を医科、歯科ともにお勧めします。

(田中歯科)

参考文献

・「歯周病と血液系疾患の

関わりについて」

大阪歯科大学 梅田誠